

子どもたちが生き生きと育つまちに

市は、子どもたちが生き生きと育つまちを目指して、さまざまな取り組みを行っています。その中から「い〜なふくおか・子ども週間♡」、今年度から始まった妊婦健診の助成拡大などを紹介します。

毎月1〜7日は
子どものために

市は、毎月1日から7日を「い〜なふくおか・子ども週間♡」としています。同週間は、子どもと子育て家庭を社会全体で支援する意識を盛り上げていくものです。3月末日現在、612企業・団体が賛同しています。

この週の少なくとも1日は個人や企業（職場、地域など、それぞれの立場で、子どもたちのためにできること）に取り組みしましょう。普段より早めに仕事を終えて帰宅し、家族と食卓を囲んだり、地域の子ども育成活動に参加したり、できることから始めてみませんか。

ホームページ (www.city.fukuoka.lg.jp/kodomo) では、賛同企業・団体名や、その取り組みを紹介しています。

5月15日(金)放映《TNC》(デジタル8ch)



リサイクルプラザで
親子体験講座

臨海リサイクルプラザの企画・運営などを行っている「NPO法人エコネットふくおか」は「い〜なふくおか・子ども週間♡」に賛同して、毎月第1土曜もしくは日曜に、同施設で親子体験講座を行っています。

これまで「ストロー飛行機を作って飛ばそう」「鯉のぼり置物作り」などの講座を開催。スタッフの安武つね子さん(66)は「リサイクルの勉強にもなるし、親子で楽しめるので、ぜひ遊びに来てください。身近な材料を使っているので、家でも作ることが出来ますよ」と話します。



4月の講座は「ストロー飛行機を作って飛ばそう」。スタッフが、ていねいに教えてくれる。

市と地区交通安全協会では、交通安全のため新一年生にランドセルカバーを毎年渡しています。今年度のランドセルカバーは「い〜なふくおか・子ども週間♡」のロゴが採用されました。通学路で黄色いランドセルカバーの子どもたちを見かけたら、温かい目で見守ってください。



子育てトピックス

1 妊婦健康診査の助成を拡充

妊婦健康診査の助成回数が増え、4月1日から14回へ増えました。(従来は5回) 現在妊娠中の人に、「市平成21年度妊婦健康診査助成券つづり」(左写真)を交付しています。

なお、4月1日以降に母子健康手帳の交付を受ける人は、手続き不要です。



【助成券つづりの交付場所】

◎市内の産科医療機関で受診している人↓受診している産科医療機関
※交付していない医療機関もあります。その場合は住んでいる区の保健福祉センター健康課で交付。

▽「親子体験講座」についてー臨海リサイクルプラザ(東区箱崎ふ頭4-13-42 ☎642-4641 ☎642-4598 ホームページ: www.econet-fukuoka.com) ◎母子健康手帳

○運転免許証など住所が確認できるもの
■福岡県内の助産所でも使えます

助成券のうち基本健診助成券に限り、県内の助産所で受診する際にも使えます。血液検査などを含む助成券は産科医療機関で受診する際に使ってください。

2 里帰り出産にも助成

4月1日以降に県外の医療機関などで受診した場合、後日、妊婦健康診査の費用を助成します。助成券つづりと領収書を保管しておいてください。(助成額の上限あり)。

詳しい手続きなどは6月中旬ごろ、市ホームページ(www.city.fukuoka.lg.jp)でお知らせします。

3 赤ちゃんの駅を登録

乳幼児がいる保護者でも、気軽に出出できるように、授乳やおむつ替えなどで立ち寄ることができる施設を10月から「赤ちゃんの駅」として登録します。公共施設だけでなく、民間施設も対象とします。

左記のマークが目印です。赤ちゃん連れで出掛ける際の目印にしてください。

【問合せ先】
地域子育て支援課 ☎711-4114 ☎7333-5534 メール:kosodate.CB@city.fukuoka.lg.jp)

2 4年生の長期休業中の受け入れを実施

市は、保護者が仕事などのため、放課後帰宅しても不在である家庭の小学校児童を対象として「留守家庭

市長の日記

在福岡ベトナム総領事館が開設され、また一つ「アジアとの架け橋」が増えました。中洲(博多区)の新しいビルに居るし、玄関前の広場には国旗が薫風に翻っています。

ハノイ市と福岡県、ハイフォン市と北九州市がそれぞれ友好提携。勤勉な国民性で知られるベトナムは「過去は問わない」政策で米国の仲間と仲良く、また日本を大切に思ってくれる国です。

麻生知事主催の祝賀会に出席し、最高指導者であるベトナム共産党のノン・ドク・マイン書記長ともお会いしました。各テーブルでの通訳は留学生の皆さんでしたが、会の終了間際には書記長の周りに集まって大にぎわい。そのうちドックと笑いが起きたので何かと思ったら、女子留学生が書記長に「もっと奨学金ください」とちゃめっ気混じりに直談判したのだそう。ベトナムという国の若さとたくましさを感じた夜でした。

福岡市長
吉田 宏

聞きたかけん

平成21年度 第1回

今回は「NPO法人グリーンバード福岡チーム」の皆さんと一緒に天神の警固公園を清掃後、都心部の環境美化やまちの活性化について意見を交わしました。

同グループは「キレイな街は、人の心をキレイにする」をコンセプトに誕生し、毎週2回と毎月第3土曜日に、天神・大名地区で清掃活動を行っています。

参加者からは「ルール作りよりもモラルの向上が大切」「天神でも路地には街灯が少なく女性が歩くのに不安」「ボランティアに参加するとポイントが溜まる地域通貨があればいい」などの意見が出されました。

市長は「今は環境を語るよりも行動をする時代。地についた活動をしている皆さんと同じ感覚で、私たちも施策に取り組んでいきたい」と語りました。



【問合せ先】
広聴課 ☎711-4067 ☎7333-55080
メール:kochi.MO@city.fukuoka.lg.jp)



目指せJ1復帰!!

5月後半〜6月前半のアビスパ福岡のホームゲームは、5月20日(水)午後7時 対 ヴァンフォーレ甲府、5月30日(土)午後4時 対 FC岐阜、6月7日(日)午後4時 対ザスパ草津、6月13日(土)午後1時 対 ベガルタ仙台。観戦には公共交通機関のご利用を。